

道建労協機関誌



Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U.)

道路建設産業労働組合協議会 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (日本舗道労働組合内) 電話03 (3562) 5857



「朝日～パッチワークの丘」 撮影：藤原 宏篤 (日本舗道労組)

今こそ業界挙げて 環境の改善を！



議長 丸山 祐二 (日本舗道労働組合)

様々な企画を立案していることでしょうか。また、皆様におかれても、これを機に一念発起、新しく始めようとしている方も多いいと思います。

道建労協におきましても、これまでの活動に加え、新たなスタートを考えております。

道建労協は、今年12月で設立15年を迎えるわけですが、これまで同じ道路建設産業に携わる仲間として情報交換を活発に行い、お互いの労働条件の改善に努めてきました。しかしながらここ数年は従来の「組合側からの要求」というものから逆に「会社側からの要請」が目立っております。

このような中、これまでのように労働条件の改善を求めてもなかなか実現せず、道路建設産業の労働環境は置いてきぼりを食うばかりです。それは建設業が請負産業であることが、大きな理由と考えられます。

経営者としては、外部に言いたいことが山ほどあるものの、会社の存続を第一と考えると請負者として言えない状況にあるのではないのでしょうか。そのようなときこそ道建労協は企業を側面から支援することが必要であると考えます。

労働者としてその実態を訴えるのであれば、周りをもっと耳を傾けることでしよう。また道路にとどまらず、建設産業が一体となって取り組む事が大きな力を持ちます。

建設産労懇は同じ建設産業に携わる仲間約18万人の組織です。道建労協はその中で、情報交換等を行うとともに、政党や関係官庁に対し、公共投資による雇用確保の要請等を行ってまいりました。今後は建設産労懇でさらに踏み込んで問題点を提起していくことを考えています。具体的には皆様に仕事上での身近な問題についての調査をお願いをすることになります。ご協力をお願いいたします。同時に建設産労懇という組織についても「PAVE」や各単組のオルグ等を通じて紹介しますので、さらなるご理解と支援をお願いいたします。道路建設産業の将来をもっと魅力あるものにするために、皆様とともに道建労協を運営していく所存です。

今年こそ良い年となりますよう祈念いたしました。お力の挨拶とさせていただきます。

パッチワークの丘

フリーウェイ

北海道美瑛町にパッチワークの丘と呼ばれる観光名所があります。小麦、甜菜、豆、ジャガイモ等が並んで栽培され、まるでパッチワークのように見えます。同じ畑で、同じ作物を作り続けると、土の力が弱くなり、病害虫が発生しやすくなるので、毎年作物の順番を代えていくことから、毎年違ったパッチワークを見ることができるようになります。こうすることにより作物を元気に育てていけるのです。

会社組織においても、長い間同じ事をし続けていると色々な弊害が出てくるのではないのでしょうか。全員が同じ様な考えの持ち主であると、一時は良いかもしれませんが、それは組織の土壌を疲弊させているのだと思いませんか。色々な考えや、資質を持った人がいることにより、組織の中で議論が生まれ、進歩していくのではないのでしょうか。人間も自然の一部だと思えば、パッチワークの丘に見られる農業の知恵は我々に色々な事を教えてくれます。

(日本舗道労働組合 谷井)

次代を担うメンバー集まる

平成11年11月26日（金）、27日（土）の2日間にわたり、東京厚生年金センターセブンシティーにおいて、加盟単組10単組、総勢39名の参加のもと第3回単組役員研修会が開催された。

今回からは、道建労協加盟各単組の次代を担う世代を中心に研修を行うことを主旨とし、従来の執行委員研修会から名を改めた開催となった。また、今回も前回同様、時・場所を同じくして関東地協幹事会が開催されたため、随時合同の参加となった。

第1日目は丸山祐二議長の挨拶、参加者の自己紹介に続き、丸山議長から「道建労協の活動について」と題し、活動状況および今後の方針等の報告があった。続いて、長野事務局長より「労働組合の役割について」の講義があり、各単組が組合活動をしていく上での問題点ならびに一般組合員からみた組合執行部への要望等、様々な意見がだされた。次に初日の最後のプログラムである「企業年金制度について」の講義を講師に第一勧業富士信託銀行の石井竜一氏、築田功二氏をお招きし催された。具体的には、全国の大企業殆どが抱えている問題である年金基金積立不足の原因・分析説明、今後労働組合がどのような視点をもって取り組んでいかなければならないか等、参加者からはかなり難しかったとの声があったものの、現状においては非常にタイムリーな内容であり、ここで得た知識を今後の活動に役立てていただきたい。

翌日は、朝食後、前回研修において好評を得た、「模擬団交」を中執、研修会、関東地協幹事会メンバー合同でとり行った。谷井貞夫執行委員の司会・進行により、今回は2つのテーマを設定し、グループを会社側・組合側各々2グループに分け、本番さながらの緊張した雰囲気の中で議論が交わされた。その後、講評を含め反省会を行い参加者の感想および意見等を抽出した。

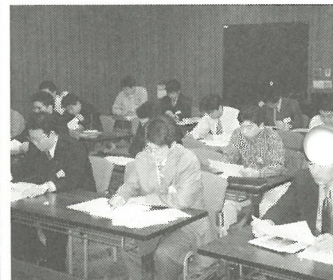
全日程を終了し、丸山議長から「2日間という限られた時間の中ではあったが、今回の研修で学んだことを単組の組合活動に役立ててもらえば幸いである。また、アンケートとして研修生全員から今回の研修会に関する感想・意見をいただいているので、中執で検討し今後に役立てていきたい」との挨拶があり会を閉幕した。



模擬団交 会社



vs 組合



熱心に聞き入る研修参加者

建設産業の発展を目指して

建設産労懇の第1回総会が平成11年10月22日（金）ホテルラングウッド（東京・日暮里）において開催された。

建設産労懇は建設産業の各産業別労働組合組織が集まり、各種の情報交換や建設産業発展のため政策各道など行おうとして、昭和61年1月に設立された。これまではそれぞれの産別の議長（委員長）と事務局長（書記長）の二役での対応を中心として活動を行ってきたが、属人的な傾向が強かった。昨年は建設産労懇の構成組織が団結して各政党、関係省庁に雇用問題の観点から公共工事費削減に反対する陳情を行った。

この活動を契機に建設産労懇をゆるやかなながらも程度形のある組織にしようという機運が更に高まり会則の作成を行った。総会ではこの会則と今年度の活動の確認を行い、それぞれ産業別組織の活動方針の紹介を行った。また、労働条件、産業政策、組織の三つの分科会に別れ意見交換を行った。各分科会ともテーマは広範囲にわたるため、限られた時間内でまとめには至らなかったが、共通する課題については共同して取り組みたいという確認がされた。

総会の閉会にあたり、丸山議長は「道建労協としてもこの建設産労懇の力に期待しているので、積極的に参加し、様々な提案をさせていただきたい。」と挨拶した。

建設産業労働組合懇話会（建設産労懇）会則

第1章 総則

1条 この会を建設産業労働組合懇話会（以下この会という）とする。略称を建設産労懇という。

第2章 目的と事業

2条 この会は、建設産業に関わる産業別労働組合ならびに単位労働組合の友好と連帯を推進し、建設産業の健全な発展と建設産業に働く者の経済的・社会的地位の向上を図ることを目的とする。

3条 この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 構成組織相互の理解と連帯
- (2) 外部への提言活動
- (3) 国内外の労働組合ならびに関連団体との協力提携
- (4) 産業労働事情その他一般情勢の調査研究
- (5) その他目的達成に必要なこと 以下略



丸山議長挨拶

企業訪問

11月の「第二・四土曜日の事業所一斉休業運動」に先立ち、道建労協では個人個人や単組毎の取り組みで

はなかなか改善出来ない部分を業界全体の取り組みとして前進させていこうと本部役員が各加盟単組の企業と業界団体を訪問し、経営者とお会いして、この運動への理解と協力を要請を行いました。「第二・四土曜日の事業所一斉休業運動」は当初は道建労協の単独で行っていましたが、現在は建設産労懇（道建労協、日建協、建設連合、全電工労連、全国通建、長谷工G労組で構成）での取り組みとして19万人規模の大きな運動となっております。また、今回は丸山新議長体制となつての初めての企業訪問と言うことで今後の道建労協が進める活動、特に産業政策においては建設産労懇を軸として積極的に道路建設産業の抱える問題を提言していく事が説明されました。企業からは、働く者の立場から問題解決に向けての産業政策を道建労協に期待する声が上がりました。

今回の「第二・四土曜日の事業所一斉休業運動」が達成出来なかった事業所も、日頃よりの組合員全員での「休む努力」が大事です。あきらめてしまうことなく個人の努力を積み重ね、事務所ぐるみで取り組むことで少しづつでも前に進むことは可能です。皆で休めるよう頑張りましょう。



前田道路(株)訪問

10月 4日	フドウ道路(株)	石田社長	盛山取締役
7日	三井道路(株)	末吉社長	黒田取締役 藤崎総務部長
	東京舗装工業(株)	工藤社長	白土常務取締役 立石総務部次長
12日	大有建設(株)	川中社長	田野岡取締役
	フジタ道路(株)	藤田社長	伊藤取締役
13日	大林道路(株)	木村社長	太田総務部長 水谷総務副部長
	前田道路(株)	岡部社長	岡本取締役
19日	日本舗道(株)	二瓶社長	佐藤専務取締役 須藤取締役
	東亜道路工業(株)	柴田常務取締役	小野取締役
26日	大成ロテック(株)	三嶋社長	
27日	(社)日本道路建設業協会		浅原常務理事
	(社)日本アスファルト合材協会		津兼常務理事

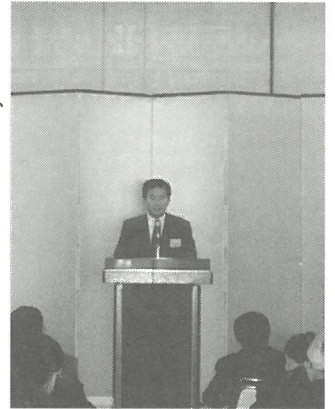
労使懇談会・労使セミナー盛大に開催される

昨年度に引き続き、平成11年12月7日に単組代表者会議、産別労使懇談会と労使セミナーが東京都荒川区のホテルラングウッドにおいて開催された。

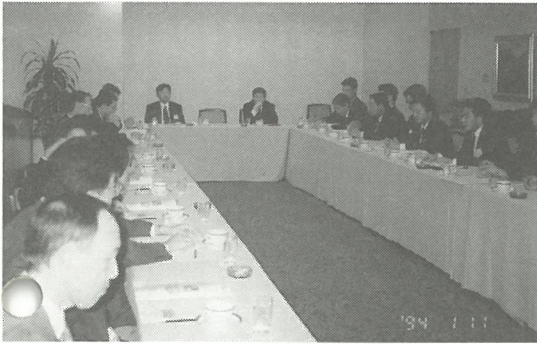
労使懇談会は道建労協中央執行委員及び単組代表者と企業側労務担当役員クラスとの間で行われた。「道建労協の産業政策」については、道建労協が今後、建設産労懇を活用して働く者の立場からの産業政策を行う事を伝え、企業だけでは出来ない道路建設産業の抱える問題点に対し積極的に取り上げてほしいとの意見が上げられた。また、近年顕著な入社間もない職員の離職率の上昇について各社の実状を伺い、共通認識のもとで意見の交換が行われた。

労使セミナーは今回で15回目となり、労働組合の無い企業や建設産労懇に加盟する産別労働組合からも出席をいただき、60名を越す参加者を集め熱気あるセミナーとなった。講師に早稲田大学の田村教授をお招きして「景気底入れが回復

につながるか、公共事業の効果はどうか。」と題して講演と質疑応答が行われた。田村先生は現在の経済状況を具体例を数々出しながらわかりやすく解説し、哲学や宗教の話しを交え能率主義に潜む矛盾点や落とし穴を挙げリストラが景気回復の芽を摘み社会不安をもたらすと訴えた。そして、来るべき社会のビジョンは、ゆとり（市場）、公正（行政）、連帯（ボランティア）の三位一体的社会と位置付け、雇用リストラを止める事によって景気の悪循環を断ち切ることが出来る、と力説した。終始力強く、またわかりやすい言葉で聞く者の意識を捉え有意義なセミナーとなった。その後の懇親会においては企業労使間を越えた交流が図られ盛会のうちに閉会した。



多数の参加のあった労使セミナー



労使による積極的意見交換

地協の活動状況 No.1

北海道地協

札幌の中心部に位置する中島公園の銀杏の葉が、黄色く染まり始めた10月15日に北海道地協の定期総会がホテルライフオート札幌にて開催されました。

総会には、加盟7単組から次の出席者がありました。参加人数は次の通りです。

日鋪労組4名、三井労組6名、東京鋪装労組5名、前田労組5名、大林職組5名、大成社組5名、東亜労組5名 計35名

来賓には、道建労協本部から丸山議長、工川副議長、桐生中央執行委員の3名が来られました。桐生中央執行委員は、愛知県の全大有労組の委員長であり大変ユーモアのあるお言葉を頂戴いたしました。（但し、北海道で中日ドラゴンズ優勝の話は快く受け入れられません。）また、今度の参加者には女性の出席者が多く見られました。

議事進行は、三井道路単組の澤木さんが議長を務められ、特に問題なく終了いたしました。99年度の地協議長には、三井道路の翁氏が再選となりました。今年度の地協活動については、レクリエーション事業を中心に各単組の意見交換会を活発に行うことを話し合いました。

（北海道地協事務局長 日鋪労組・井上徳好）

他地協からの声

翁議長から「元気な桐生さん」、ぜひ北海道にきてくださいと、お誘いを受けたのは昨年2月の単組代表者・地協代表者合同会議で同室させていただいた時でした。それから8ヶ月後のこの定期総会で念願がかないました。いつも物静かな男の何処が元気であったのかは定かではありませんが、どえりゃ〜元気な振りをしてはせ参じました。本部中執の立場というよりも中部地協の仲間を代表して挨拶させていただきました。「なぜ中部が元気か？ドラゴンズが優勝したからです。」この一言に名古屋地区からの単身赴任の方以外からはブーイング。正直行ってジャイアンツファンの私にとってはうれしかったです。そんなことはさて置き、有無を言わせぬ議長ぶりの三井道路労組の澤木さん、議事進行に協力的な役員・代議員の皆さん。懇親会は大変楽しかったです。すすきでの語らいは忘れえぬ思い出となりました。今度はぜひ名古屋の地にもお越しください。寒さ厳しいおり、お互い元気はつつオロナミンCで頑張りましょう。

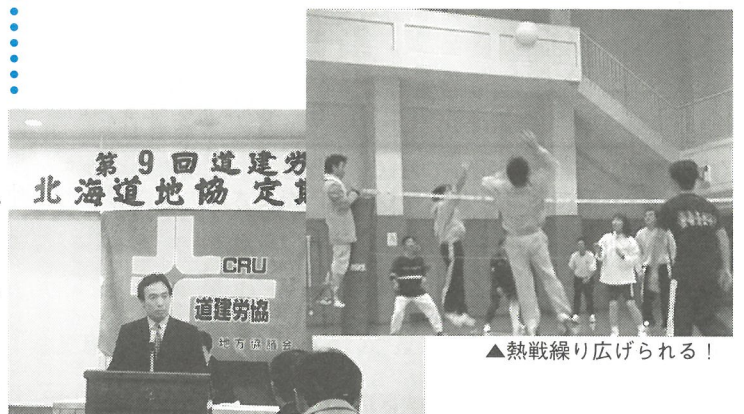
（全大有労組 桐生伸治）

中部地協

今年は暖かい11月を迎えている中部地区ですが、晩秋の27日（土）中部地協として初の試みとなる「ソフトバレーボール大会」を実施しました。まだこのスポーツは馴染みが薄いかもかもしれませんが、通常のバレーボールよりふた周りほど大きく大変軟らかいボールを使うことから、女性や子供も交じって楽しむことが出来る手軽なスポーツです。

名古屋港に近い邦和スポーツランド体育館に、9単組（10チーム）よりスポーツ自慢の90名が参加して熱戦が繰り広げられました。ゲームは、トーナメントで全14試合を実施、敗者復活戦もあり最低で2試合それぞれのチームがゲームを楽しみました。優勝するには4試合勝ち抜く必要があります。優勝の賞品と第1回チャンピオンの名誉を賭けて真剣にぶつかりあいました。決勝戦ともなると回転レシーブやミラクルアタックも飛び出し館内は熱気で大変な盛り上がりとなりました。その結果、優勝は既に単組でソフトバレーボールの経験がある「全大有労組Aチーム」、準優勝は、「日本鋪道労組チーム」でした。また今回は、これからのレクリエーションをより充実したものにするため、今後の地協活動に生かそうとアンケートを実施し参加者全員に協力をお願いしました。表彰式では、順位賞、参加賞、ハッスルプレー賞をそれぞれの参加者に受け取って頂き和気藹々のうち無事終了しました。

（中部地協 事務局長 久田和人）



▲熱戦繰り広げられる！

▲北海道地協 翁議長（三井道路労組）

北海道地協セクハラセミナー開催

去る10月29日（金）に開催された北海道地協主催による「セクハラセミナー」開催の記事が地元業界紙2紙（北海道通信・北海道建設新聞）に掲載されましたので、ご案内致します。

セクハラ防止学ぶ
道建労協道地協
相手への配慮忘れずに

道建労協道地協（道建労協道地協北海道地方協会）は、10月29日、札幌ランドホテルにて「セクハラ防止セミナー」を開催し、約50人の参加者（セクハラ防止関係者）が参加し、熱心な聴講を行った。



11.2北海道通信社

改正男女雇用機会均等法によるセクハラ防止規定が盛り込まれたことを受け、道建労協道地協は現場ですぐに役立つセクハラ問題への対応策をテーマに、同セミナーを開催した。

冒頭、会長が「快活な職場環境づくりのため、セクハラ防止の理解を深めよう」とあいさつ。続いて、労働省道建労協の安部和子会長、札幌支店リーダーの山下信行社長、北大法学部の道建労協教授の三人が講演した。

安部会長は、事業主はセクハラ防止のため「方針の明確化を周知・啓発、相談・苦情への対応、事後の迅速かつ適切な対応」の三項目に配慮しなければならないこと、セクハラを防止する自社の取り組みを紹介し、道建労協の現場から紹介し、道建労協本部の丸山祐二部長が「本日のセミナーを参考に、相手への配慮を忘れずに行うこと」を強調した。

セクハラについて理解を深める
道建労協道地協が
44人集めてセミナー

道建労協道地協（道建労協道地協北海道地方協会）は、10月29日、札幌ランドホテルにて「セクハラ防止セミナー」を開催し、約50人の参加者（セクハラ防止関係者）が参加し、熱心な聴講を行った。

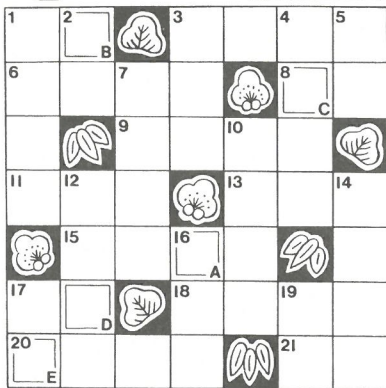
セミナーは女性13人を含む44人が参加。最初に部長が「快活な職場環境をつくるため、セクハラ防止について理解を深めよう」とあいさつ。続いて、労働省道建労協の安部和子会長、札幌支店リーダーの山下信行社長、北大法学部の道建労協教授の三人が講演した。

安部会長は、事業主はセクハラ防止のため「方針の明確化を周知・啓発、相談・苦情への対応、事後の迅速かつ適切な対応」の三項目に配慮しなければならないこと、セクハラを防止する自社の取り組みを紹介し、道建労協の現場から紹介し、道建労協本部の丸山祐二部長が「本日のセミナーを参考に、相手への配慮を忘れずに行うこと」を強調した。

11.3北海道建設新聞

クロスワードパズル

出題 ● モロゾミ勝



答え A B C D E

- ▼タテのカギ
- 録音テープの小型容器
 - 兄弟・姉妹のむすめ
 - 書きぞめるとき使う和紙
 - ゆかに張った板
 - 外科手術の小刀
 - 自分から動機をやめる
 - 野球で投手が立つ場所
 - 有史以来活動のない火山
 - はげしい痛み
 - 公道に対して個人の道路
 - かけっこで一番うしろ
 - 地球儀の横線は？



【解き方】カギをヒントにマス目をうめ、次に二重マスに入れた文字をABC…の順に並べてください。それが答えです。

▼ヨコのカギ

- 竜宮城への案内役
- 一富士二たか三なすび…
- 1月第2月曜、—の日
- 液体をこしたあとに残る
- 正月にシシの頭でおどる
- 書物、本。—館
- 宴会、酒宴の昔の言い方
- 「保守」の反対語は？
- 旅券の査証・裏書き
- 7・7・7・5調の小唄
- 竜胆の読み方は？
- 元素記号「Cu」は？

物知りクイズ当選者発表

前回の物知りクイズ（第47号PAVE）の当選者が決定いたしました。予想通りの難問で？応募が少なく、以下の14名（応募者全員）の方が当選となりました。当選された方には粗品をお送りいたします。ご応募ありがとうございました。48号のクイズは、お正月に関連した答えです。たくさんのご応募をお待ちしています。

前回の答え ①ホトトギス ②444本 ③アメリカ

- 当選者
- | | |
|-------|--------------|
| 鎌田 隆 | (大成ロテック社員組合) |
| 山田奈津子 | (大成ロテック社員組合) |
| 小田 澄子 | (大成ロテック社員組合) |
| 松浦 泰明 | (全大有労働組合) |
| 大嶋実寿々 | (東亜道路労働組合) |
| 大谷早代子 | (日本鋪道労働組合) |
| 中尾真智子 | (日本鋪道労働組合) |
| 鎌田 純子 | (日本鋪道労働組合) |
| 西 聖二 | (前田道路労働組合) |
| 佐藤 愛 | (前田道路労働組合) |
| 小山由希子 | (前田道路労働組合) |
| 荒木 俊一 | (フジタ道路職員組合) |
| 吉永 憲一 | (三井道路労働組合) |
| 藤井 崇 | (三井道路労働組合) |

これからも物知りクイズをよろしく願いいたします。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
馬齢を重ねて幾星霜、時間と月日の経つのが加速度をつけて早くなっていることに驚かされる今日この頃です。
昨年、色々な面で、何度も落胆、挫折、苦悩、挑戦のサイクルを組合役員として体験させていただきました。
道建労協の加盟単組の皆様のご指導、ご鞭撻が大きな支えになりました。
今年は、昨年の反省を踏まえて、1段、2段、3段の飛躍を図ることにより、「人間万事塞翁が馬、次はいいことがある」年にしたいと考えております。
これから年度末に向けて忙しくなります、健康に気を付けて無事故、無災害で頑張ってください。

フジタ道路職員組合 岩田 孝

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 回答
 - 賞品送り先住所・氏名および所属単組名
 - 締め切り 3/15
 - 今月の紙面で良かった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
 - 宛先 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 日本鋪道労働組合内 道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛 FAX 03-3535-4810
- ※発表は次号（4月発行予定）